

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(9/15)

文・写真：武田、写真：倉谷、山國

日時：2019(令和元)年 9月 15日(日) 9:30～15:00

気象：天候=晴

活動エリア：東海自然歩道 & 「44林班ろ」

活動内容：歩道整備と林床整備

参加者：大本孝子、斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、中村賢三、  
福西勇之助、宮本 廣、山田真也、山 國

計 12名

### おととい ＜昨日は中秋の名月、昨日は……＞

月齢では満月(14.7日)、但し、秋深まるとまでは行かず、30℃を越える日が続く。山は前回同様の”ミンミン・ツクツク”で中々秋到来とは行かぬ模様。

我々の活動範囲の東端はポンポン山に伸びる東海自然歩道、天狗杉まで。大きく崩れた階段と数ヶ所の水切り溝がある。ズーッと気になっていたのが、今日は有志二人が階段の補修に向う。

(水切り溝の掘り返しは後日)残り十名は「44林班ろ」のモニタリング調査区の東斜面へ。この尾根の西斜面はあらかた整備を終えたが、東側は枯損木や倒木、放置木が重なっている。勿論、傾斜は急だが、立木は多いので、直射日光は免れそうである。

### ＜今日の成果＞

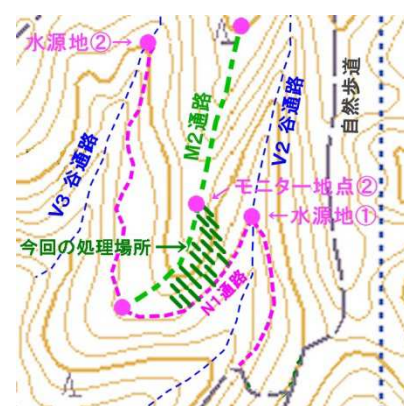
歩道の階段は本山寺から約600m進んだ作業道との分岐の上手、午前中に大きく崩れた土留め二段を修復。午後は分岐点近くの作業道の拡幅。これで多少は歩き易く。「44林班ろ」の林床整備では、中径木が多く、台風で根起しした要処理木がある。しかも高所で枝掛りしたり、下部では折り重なっていて鋸を入れるにも難儀する。チェーンソーが燃料切れまで大活躍。約0.15haの仕上がりは写真を参照。

### ＜松茸に代えて……＞ 尾根の先は天然林、松茸を期待しているが今日はキヌメリガサ(?)の幼体 (本文 終り)

＜集合写真—開始時＞



＜活動地要図-緑色のハッチング 辺り＞





<崩落している階段部>



<土留めを作り直し土を入れる>



<歩きやすくなった作業道の狭隘箇所>



<倒木あり、放置木あり、手前左は枯損木>



<中折れ木の伐倒に手を焼く>



<倒したら即玉切り>





<チェーンソー様々>



<木陰を選んでランチタイム>



<午後の頑張り①—下方は作業道>



<午後の頑張り②—右下方に作業道が見える>



<帰途、棚積みを終えた斜面を見上げる>



<崖から斜めに生えたキノメリガサ？>

